

◎本町農業の現状と課題

新戦略部会

検討項目 1 食農及び地産地消推進について

※食農…食育に農業に関する知識、体験も含んだもの。

現状

- ・町の食育推進活動として、めむろ農業小学校、めむろまるごと給食、農家民泊、食育講演会を行い、農業の応援団づくりを進めている。
- ・食農教育の具体的実践として、町内小学校の総合的な学習の時間を活用し、指導農業士及び農業士を指導者として通年で作物の播種、管理作業、収穫及び試食を行う事業を計画。
- ・食農は緻密な年間計画の作成及び担い手と事務局との密な連携が必要であることから関係者の人手が必要である。
- ・地産地消バスツアーを行っており、町が行っている「まちづくりに関する住民意識調査」では日頃から地産地消を意識して買い物している町民の割合は 77%前後を推移し、地産地消に高い意識を持っている。

課題

課題① 食育推進活動の活性化

理由 食育推進活動をおこなっているが、参加者が固定化しつつある。新規参加者への周知方法、企画の提案を含めた外部委託等、内容の見直しが必要とされる。

課題② 食農教育の指導者不足

理由 食農教育の指導者は農業者であり、農業体験という性質上、農繁期と重なる事があり、農業者を確保する必要がある。食農教育への賛同者を増やすと日程の調整等も容易になる。

課題③ 町民の地場産農畜産物消費促進

理由 芽室町民は地産地消に高い意識を持っていることがデータより判明しており、直売所の他、地域量販店にも地場産物コーナーの設置も行われている。さらに生産者と消費者が相互に理解を深めることができるシステム開発への支援や、町民意識の普及啓発事業、情報発信が必要になる。

検討項目 2 6次産業化等推進について

※ 6次産業化とは…農林漁業の生産者（第1次産業）が加工・ブランド化などで生産物の価値を高め（第2次産業）自分達で流通・販売することで利益を向上させる（第3次産業）のこと。

現状

- ・芽室町において6次化産業化に対する生産者の意欲は一定程度あり、農家個々が独自に加工、直売、販路開拓を実施している。
- ・担い手自主的活動支援として地元農畜産物を使用した加工品の販売PRに補助支援を行っているが、6次産業化に対する市町村戦略は未策定である。

実 施 例	
原料	加工品
牛乳	アイスクリーム
トマト	ミートソース
牛肉	カットステーキ、ハンバーグ
落花生	塩ゆで落花生
枝豆	ボイル枝豆、むき枝豆、
いんげん	ボイルいんげん、カットいんげん
大豆、白いんげん豆、金時豆 黒豆	ボイル豆各種
ブロッコリー	スチーム加工ブロッコリー
長いも	スティック加工、ダイスカット加工、とろろ加工
ごぼう	カットごぼう、五目の具
じゃがいも	ポテトサラダベース・皮付きフライドポテト・カットポテト いもだんご
小麦	小麦粉、うどん、ケーキミックス、冷麦
そば	そば粉、乾麺
大根	切干大根
山わさび	醤油漬け
菊芋	乾燥加工品、パウダー加工品、お茶
にんにく	にんにく塩

課題① 町としての6次産業化支援策の方向性の決定

理由 現在、6次産業化への取り組みは農家個々で取り組みを行っている。町内農業者の6次産業化への展望の状況調査や、町内加工業者など異業種との連携強化、農政事務所、振興局等の関係機関との協議が必要。また、新規で6次化を行う場合、初期投資の負担がかかるため、補助等も必要となる。

課題② 保健所の認可、HACCAP、専門知識の習得

理由 食品の加工を行う場合、加工品表示等の専門知識が必要である。また、改正食品衛生法案が可決され、2020年6月法案施行、2021年6月義務化開始となるHACCAPによる衛生管理制度の導入が行われる。

課題③ 6次化に係る女性農業者の活躍支援

理由 6次化に関して、調理加工や販売等の作業も必要となるため、女性の活躍する場が多くある。女性農業者や団体が参加しやすい研修や交流会開催支援が必要。